町報森吉

第23号

毎月1回1日発行
発行所
秋田県北秋田郡
森吉町役場
編集責任
総務課
森吉役場
TEL 米内沢 64番 44番

謹賀

平和の曙光

森吉町長　金助爲

写真　金町長

先月上京の途中鷹巣駅で読売新聞を買つたが、「編集手帳」に南極条約に関する評論が見えた。

平和共存のみごとなモデル地域が南極に出来た南極条約に対するアメリカ、ソビエトを始め日本も含む十二ケ国の調印は世紀の大ニュースである平和共存から国際粉争のない〃国家家族〃への歩みがこゝからはじまり「世界国家」の希望がこゝから生れるような気がするのは、私一人ではあるまい。この条約を結ぶにあたつてアメリカはソビエトに譲歩しソビエトもアメリカの主張を聞いたということもまた査察が条約にふくまれたと云うことも是からさきのジュネーブ会議軍縮会議に明るい見とおしとよい影響を与へるであろう。

大体この様な批判であつた。

前町長金作之助が三十二年六月十七日病床から森吉町青年学級の青年達に録音で「私はいま歓喜の頂上を縫つて歩いています。それは未だ曾てなかつた、経験であり、した世界の人類はこと〳〵く驚きをもつたのであります。しかもそれによつて最も鋭い感覚をふるわれたのはソ連の砕氷船オビ号、そしてアメリカの砕氷船グレーシャー号の二ツのつながりは音もない動きを始めたのであります。南極大陸の大情景の前……中略）オビ号は最も早く救援の手が届いてバリ〳〵連結する氷を破砕して一廻して道を海路を開いて静に本務に帰つたが、その時はたゞ〳〵歓喜と感謝のとり交し、一齊歓声の大感激、これは世界の人々予想もしない、国を境をのぞいて、そして世界一体の、しかも理屈もなく、計画の柄であります。宗谷丸の凍結事件にからんだ事柄であります。宗谷丸の凍結によつてその船員は死の冷厳なる体験の中にしかも自分達の本務であるところの観測を怠らずそれを広く世界に向つて放送すると共に自分達の南極予備観測隊の宗谷丸状況、情勢をも報告いたしましたが、これを聞々南極大陸の大情景を背にした大映象、それをもつて、実際に、世界の将来を見せてくれたと、世界の将来を見たという、ういう場面であります云々」

町民の皆さん新年お・げている次第であり・あります、森吉町も再建の見透もつき又躍進の町にする為に・は町民一人一人の協力が必要とされております。

新しい年を迎えるに当り益々皆々様の町発展の意欲を高められんようお願い申上げまして年頭の挨拶と致します。

町民の皆さん新年おめでとうございます

町民の皆様に選ばれた私共議員も新町建・再建整備団体として

当町もごらんの如く

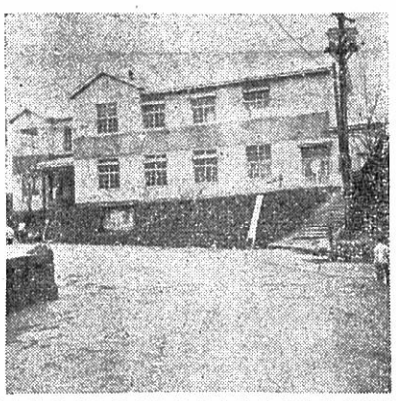
年頭に際して

森吉町議長　工藤政五郎

設に大事な審議の一員としてこゝ三年間無事過されたことは町民各位の御協力のたまものと感謝申上・苦しい財政面におかれているが、町民の要望に答えて苦しいながらも事業の連続・実施をみているので・と致します。

町民の上途にある躍進力で協力

我が森吉城



御挨拶

森吉町教育長　田村正一

森吉町民の皆様明けましておめでとうございます

次代を背負う大事な皆さまの子供さんは、先生達の御指導によつて、いずれもすく〳〵と力強く伸びつゝありますことは誠に慶福に堪えません。

小中学校の整備につきましては、苦しい町財政のやりくりによりまして、昨年秋から湯岱小中学校の体育舘と前田中学校の特別教室の増築を目下それぞれ工事を急いでいますので、近く竣工の喜びを迎えることと存じますが、さて新年度は、多年の懸案であつた前田小学校の全面改築による第一期工事と大野岱分校の体育舘新築が最も大きな事業としてその実現を期待いたします。

尚その他桐内沢分校の校庭拡張と体育舘の増築、へき地教員住宅の整備、浦田小学校音楽室の増築米内沢中学校の内部大修理、米内沢小学校の応急修繕、丹平川原グランドの公認を目指す第二期工事、前田中川原グランドの架橋等々の課題は、町財政とにらみ合せ、出来得る限り早期解決に努力する決心でございます

次に社会教育につきましては、昨年法律の一部改正に伴う社会教育委員並に社会教育主事の設置は本年実現のはこびになると存じますし、公民館の積極的活動が時代と共に一層強く要請されて参りましたので、機構の再検討、運営面の改善等に依り、真に森吉町に根を下した地についた活動の展開を期待いたしてやみません。

以上学校教育、社会教育の両面にわたつて、新年度の希望の一端を申し述べましたが、これを実現するにはなんと云つても地域感情を超越した挙町一体の協力体制が、何よりも重要な解決の基盤であり、カギであると存じます。

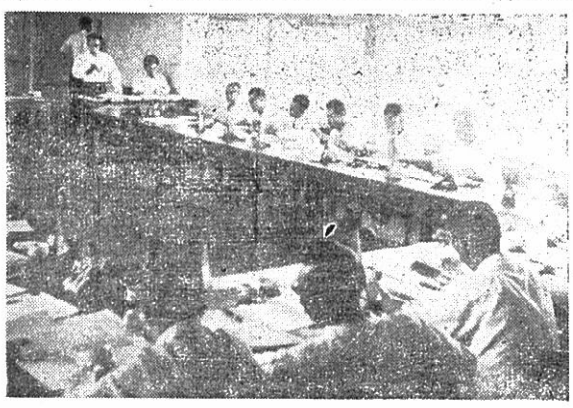
何卒格段の御協力御鞭韃を切にお願い申上げまして新年の御挨拶といたします。

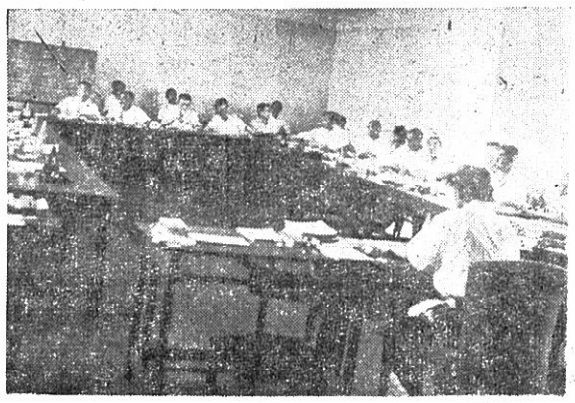
民生委員が改選されました

民生委員は十一月三十日で任期が満了となり、厚生大臣の委嘱として十二月一日より左記の方々が新しく民生委員となりました。

鈴木宇一郎、安部初太郎、片岡喜右ェ門、庄司岩松、柴田ヒデ、若松徳三郎、高田勘一郎、森川要蔵、古倉寅蔵、齋藤寅太郎、吉田弘司、吉田ヒデ、大川三次郎、新林吉ェ門、鈴木勝治、石田信治、藤本義孝、奥山せつ、関多三郎、工藤きぬ、楢岡竹之助、佐藤富郎、金ことと、鈴木カツエ

☆真剣に議案審議する☆
☆町議会議員諸氏☆





皆さんに選ばれた町議会議員の諸氏は町の重要なことがらを真剣に審議し質疑応答を行なつて可決するのです

今年度の小学校入学
児童数三八七名の見込

四月新しく小学校に入学する子供さんお持の方は身体の具合、学用品の準備等で何かと心を配つて居ることゝ思います。

教育委員会では新入学児童の基本となる名簿の作成の為め調査致し、それにより就学前の健康診断を実施する運びとなつております。

しかし毎年のことながら名簿より脱落している方があります、これは住民登録していない方等でありますので、若し最近転入して来てまだ登録しておらない方は至急手続を行つて下さい。

健康診断は一月中旬実施する予定です。

現在調査している各学校の入学児童数は別表の通りです

学校名	入学児童数
米内沢小学校	一二二名
大野台分校	八
浦田小学校	三〇
前田小学校	一一四
根森田分室	二二
森吉小学校	三二
桐内沢分校	七
小滝分校	七
湯の岱小学校	四五
計	三八七

農林センサスに皆さんの御協力を

センサスと言う言葉は調査と言う意味ですが今回国際連合食糧農業機構の提唱により世界の百余ケ国が一齊に行う一大調査で準備調査は十二月一日現在で行われ、本格的調査は三十五年二月一日より行うことになつていますので調査員が訪問したときは何卒御協力下さるようお願い申上げます

尚調査する事項は左記の通りです

◉農業調査
①世帯員、兼業、②土地③家畜、④農業機械、⑤農業産労仂、⑥肥料、⑦農産物

◉林業調査
①山林面積、②保有山林の内容、③植林施肥、④林産物、⑤労力

納税証明書に手数料

いままで無料であつた納税証明書の交付に手数料がいることになりました、これは國税徴収法施行令に新しく規定されて二十五年一月一日から施行され手数料は一通ごと三十円の収入印紙で納めることになるが、税目年度を異にするごとに一通づつの手数料がかかることになります。

なお、くわしいことは税務署におたづね下さい。

米内沢警察署長の異動

米内沢警察署長警視菅原源太郎氏は十一月二十六日付で秋田県警察本部警務部警務課次席に栄転することになりました、氏は当地在任一年六ケ月で後任には能代警察署次席警視皆川忠彦氏が着任されました。

収入の窓口

収入の窓口は町民とは切つても切られない結びつきの大事な窓口で、この窓口より入る税金の如何により町の発展、ようするに大事な事業が促進されるのです本庁に来ても支所に行つても収入の窓口には、百合の花のような、ものすごい美しい受付嬢が、一日中、座つて皆様のお出を待つて居ります。

滞納すると氵氵にくくなりますので、税金は期限通りに守り、香ばしき受付嬢に渡して下さい、彼女はきつと笑顔で迎えて呉れます。

県政特報版

秋田県広報

県政特報版

発行所　秋田県
編集者　秋田県企画室

県民の皆さま
明けまして
おめでとう
ございます

◇新生活運動◇

お正月は、家族そろって
簡素で、明るく
みんなで話し合って
くらしの設計を
はつきりたてましよう

新しい県庁舎の完成

県庁舎は、昭和三十二年八月の火災で焼失したので、翌三十三年三月から耐火耐震の永久建築として着工、工事は順調に進み昨年末に竣工しました。

新庁舎は、本館地下一階、地上六階議事堂地上三階で総面積二万六千三百平方㍍、エレベーター、暖房つきの近代建築で、躍進途上の県政の中心として、まことにふさわしい偉容です。

総工費は十億六千八百万円ですがうち四億一千八百万円は県民の篤志家の寄付金、火災保険料、一般県費ですでに支払し、残りの六億五千万円は今後二十五年間で年賦償還することになつています。

総合振興四カ年計画のあらまし

皆さんの意見を聞く

公約いかして県政の柱建て

県では昨年四月、再選された小畑知事が就任のさいに公約した

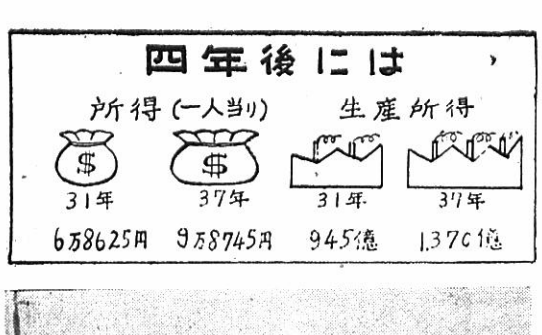
❶若い々に働く場所を、
❷恵まれない人々に希望を
❸原料県から生産県へ
❹町づくり村づくりに本腰を

の四つを内容とした総合振興四カ年計画を立て強力に施策をおし進めています。いままでは昭和三十一年度から始めた総合振興五カ年計画に基づいてしごとを行い当初計画に対して三十三年度末で七六㌫という順調な進め方をしましたが、最近の国民経済の伸びが著しいことや、政府と東北各県が一体となつて進めている東北開発促進計画に合せて計画を進めたほうが効果的であることから、五カ年計画は三十三年度末で打ち切り、三十四年度からはあらたに県民生活の向上を目ざす〝総合振興四カ年計画〟を立て〝実施することになつたものです。この計画は五月以来半年がかりでまとめたものを県議会の全体会議で検討を願い経済企画庁、国民経済研究所、県の開発審議会等の意見も参酌して作成したものですが、次ぎに計画のあらましについてのべましよう。

目標は所得の向上と失業者の解消

この計画は、現在県民の所得水準は、全国平均に比べると八二㌫となつていますが、これをこんど四カ年間に全産業生産所得を一四五㌫（昭和三十一年度を一〇〇㌫とする）ふやすことにより八六・七㌫まで高めようとするものです。これを就業者一人当りの生産所得からみますと年間十五万四千円であつたものが二十一万一千円となり、また県民一人当りの分配所得では三万円増の九万四千七百円にふえることになりますから、現在に比べて生活水準は相当高まるものと期待されています。

また本県の人口は県外流出をのぞいて昭和三十七年には百三十六万三千人に増加すると推定されこれによつて労働人口が新たに三万四千人増加するとみられています。



（写真……新卒者の集団就職の出発）

（産業）（計画）

原料県から生産県へ

農業　まず農業では、米をいままで以上に増産し、四年後には三十一年度生産高の一五㌫増にあたる五十二万九千㌧（三五三万石）にふやす計画で今後とも三毛栽培を中心とする早植えを奨励するほか、土地改良事業も大巾に進めます。

また果樹、野菜も増産されますが、とくにビート（砂糖大根）の栽培を奨励して開拓農家を中心に現金収入をふやそうという計画です。

畜産については、乳牛を昭和三十三年現在の六千五百頭から一万七千頭にふやし、乳の生産量も二・六倍にする予定で、肉畜の増殖にも力を入れ、豚、鶏もふやし、飼料は現在の自給度六七㌫から八〇㌫にひきあげることになつています。

林業　県市町村有林四千六百ヘクタール、私有林一万九千四百ヘクタールに造林を行う一方資材の集約的利用を目標に製材機械の貸与譲渡制度を実施します。

水産　生産性の高い河川、湖沼に対してアユ、ニジマスなどを放流するほか、コウナゴ、コイワシ、コアジなどの活用と新漁法の導入を行い、また処理加工施設をつくつて沿岸漁業の総合的な振興を図り、需要の六五㌫の漁獲量にすることになつています。

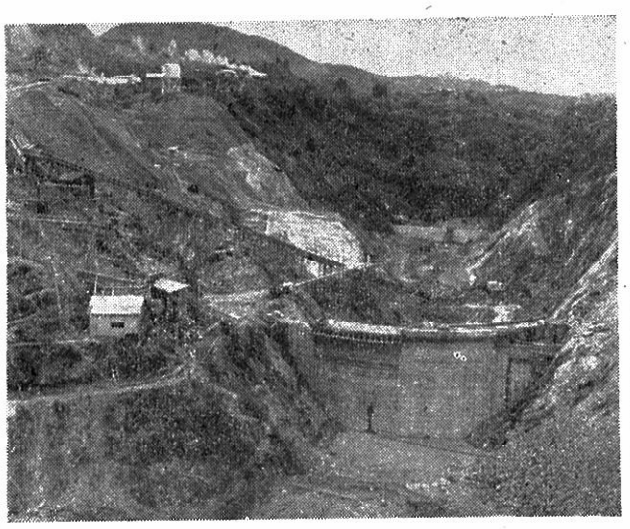
鉱工業　天然ガス、原油、銅などの増産に重点をおき、地質調査、不振な中小鉱山の育成指導、探鉱奨励金の交付、機械貸与を行い、生産を高める計画です。

また天然ガスを利用したガス化学工業、木材資源を利用した木材化学工業の振興を図るため工場誘致を積極的に進めています。

中小企業　能代市の鋳物、本荘市の農用刃物、大館市の曲輪五城目町のタンス、川連町の漆器等特産品の産地化育成を大幅に進めるため、共同施設を設置する予定です。

また木工、機械金属工業振興のため、機械貸与、資金の融通を積極的に行い、中小企業者の利用を図ることになつています

電力　秋田臨海工業地帯に出力十二万㌔の火力発電所を誘致する計画が立てられていますが県営発電は目下建設中の小和瀬発電所に次いで、今後四カ年間に、小沢発電所、湯淵沢発電所また皆瀬ダムを利用した皆瀬発電所の建設が予定されているので、昭和三十七年度には県内だけで約十億八千九百万キロワットアワーの電力が確保される見込みです。



（写真……建設中の皆瀬ダム）

（県土）（保全）（計画）

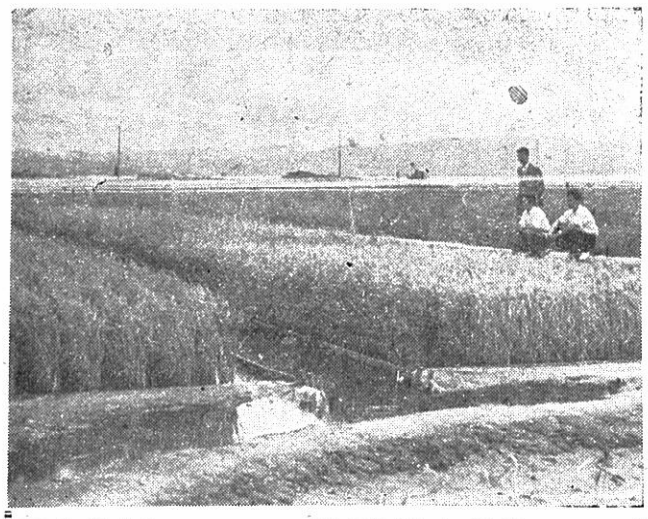
災害を未然に防ぐ

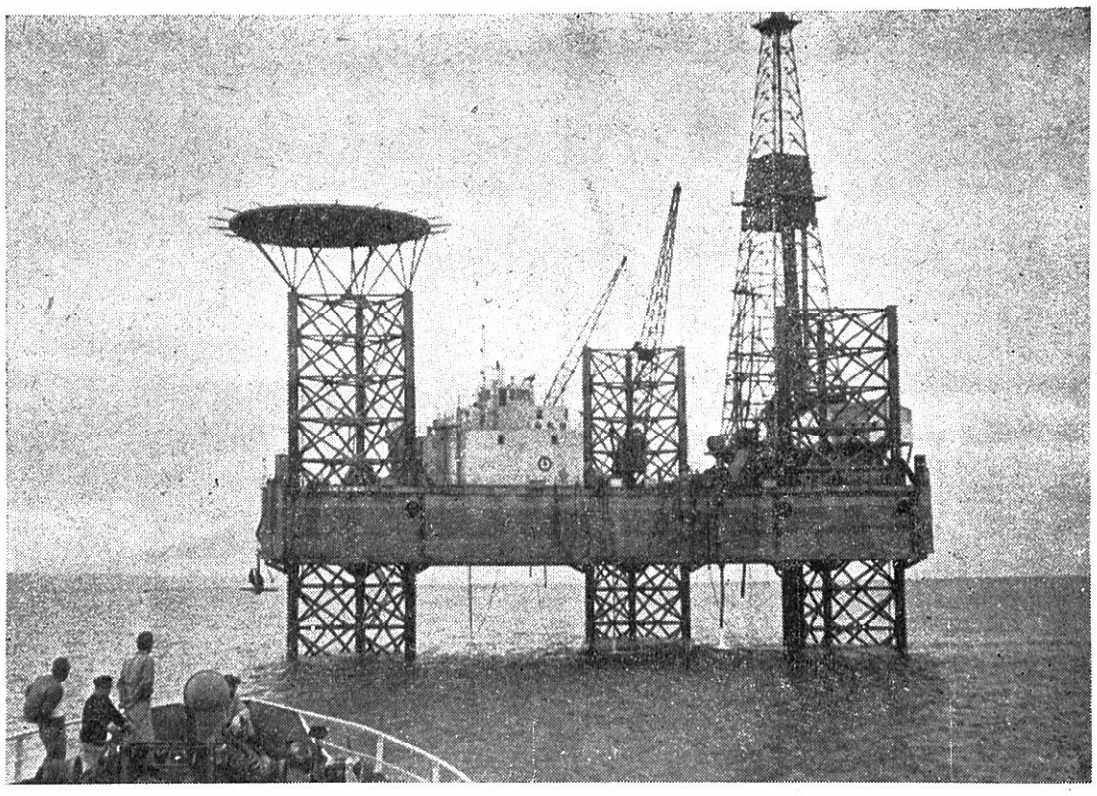
河川　災害の多い雄物、米代川水系にダムや堤防をつくつて水害を減らすことになつていますが、現在工事中の皆瀬ダムが三十八年に完成するほか、鮎毛川の素波里ダム、小阿仁川の萩形ダム等の実現を図り、発電や農業用水にも利用する計画です

また河川改修では、現在の雄物川の改修率四四㌫を五八㌫に米代川の四〇㌫を四九㌫に促進するほか中、小河川の改修も一層促進します。

砂防　現在年間河川に吐き出される土砂の二六㌫を堰堤や保安林で防いでいますが、四年後には三〇㌫にひきあげるほか、危険地帯では防止工事を行います。

海岸防止　松ケ崎、八森海岸が毎年一㍍づつ浸蝕されていますので、四年間に二千四十五㍍にわたつて防止工事を行いますまた、八森海岸外三カ所に砂防林百七十四ヘクタールを造成し





（写真）右―海底油田の試掘をする白龍号　上―八郎潟干拓地試験田の稲作

新天地拓かれる

秋田県では昨年、わが国はじめての「海底油田」の採油が成功したのをはじめ、日本最大の干拓事業である八郎潟干拓地には見事な稲の実りがみられた。

また秋田臨海工業地帯には三十万坪にわたる土地造成事業がその大半を完成し、資源の豊庫の阿仁田沢地域を拓く生橋、鷹角線の鉄道路線も順調に伸びている。

こうして資源県秋田の建設はこれからも益々進められることになっている。

（交通）（都市）（計画）

秋田―東京に定期航空便

道路　現在本県の国県道二千六百㌔のうち、未改良道路は千二百五十五㌔なので、一、二級国道の整備と隣接県との交流道路の改良に重点をおき、現在の改良率（一三％）を二六％に引上げとくに秋田―能代間は全部舗装秋田―大曲、秋田―本荘を半分から七割まで舗装する計画です。

橋・港湾　国道橋五六三橋のうち、九三％を永久橋にかけかえ、主要地方道橋六〇％を永久橋にする計画です。

また秋田港は一万㌧級貨物船が横づけできる岸壁の築造を完成するとともに南防波堤を二百㍍延長し、船川港は三千㌧岸壁の増設と臨海道路を完成して物資の交流を図ることになっています。

鉄道　年々ふえる物資輸送に対処して、重点を複線工事、乗車効率の緩和、秋田操車場と生橋・鷹角両線の早期完成、民衆駅の改工においています。

また、秋田県を中心としてディーゼル車の導入を図り、通勤列車の混雑を緩和するようにつとめます。

本県はじめての飛行場の建設は、秋田市新屋町割山に予定して国と交渉中ですが、おそくとも三十七年度までは完成し、秋田―東京、秋田―仙台の定期航路（ダグラスD.C二型、一日一往復合せて六十二名を運ぶ）をつくることになっています。

都市計画　重点を秋田市ほか七カ所においていますが、とくに急激な発展が予想される大曲鷹巣、角館、田沢湖町は綿密な基礎調査を行って都市計画をくみ、その他大館、能代の計画もあらためるほか、三十六年度開催の国体にそなえて街路事業を大幅に進める方針です。

さらに金浦、象潟、北浦、椿等の漁港では波浪を防ぐ堤防や護岸工事を実施することになっています。

（厚生）（教育）（計画）

すしづめ学級を解消

民生　生活に困る人々の保護に重点をおき、四カ年間に五カ所の養老施設を増すほか、厚生資金の貸付をふやして保護世帯の自立更生を図ります。

そのほか身体障害者の更生訓練所の新設、虚弱児童の施設、母子寮、児童遊園、保育所などを増設し、恵まれない人々に援護の手をさしのべる計画です。

住宅　現在二万五千戸が不足しているとみられるので、三十七年度までに公営住宅千四百六十戸、公庫住宅千七百十戸、公団住宅四百六十戸、その他六百六十戸の計四千二百九十戸を建設する計画ですが、民間の自己建設が一万八百十戸ほど予想されるので、合せて一万五千戸ができあがり、住宅難も相当解消される見込みです。

衛生　潜在している結核患者が二万四千人もいるとみられるので集団検診をできるだけ多く行い早期発見につとめるほか、全国一といわれる高血圧患者を少くする対策として、生活全般を研究調査して食生活や生活環境の改善を図るため、生活科学研究所を新設することになっています。

労働　職業訓練制度の充実により、四カ年間に三千人の訓練生を就業させる計画です。失業対策では県営、市町村営で延べ二百二十九万人に働き場所を与え、また内職訓練を拡大するので、婦女子や老人四千五百人が生産に従事し得る予定です。

さらに勤労者の安定を図るため、住宅四百戸の建設資金を労働金庫に融資するほか、中小、零細企業の合理的な労使関係の確立、最低賃金制度の普及等を進める計画です。

教育　小、中学校で一学級五十名以上いるいわゆるすしづめ学級を解消するため、教職員の増員、施設の整備に力が入れられます。

また危険校舎の三六％の改築を行うほか、産業、理科教育の設備を増強し、義務教育の充実を図ります。いっぽう市町村の公民館、社会教育担当者を中心に社会教育を新生活運動との関連において進める計画で、とくに公民館は毎年十館程度新設する予定です。

村づくりに全力つくす

また新しい町づくり村づくりは、あくまでも町村自らの意欲と計画に基いて進められるべきでありますが、県としては過去八カ年、市町村合併に払われた犠牲と努力をムダにしないためにも、町村建設に対しては全力をつくし、全県庁が足並みをそろえて協力できる体勢です。

県民生活の向上は

県民の協力で達成

以上は総合振興四カ年計画の主な点ですが、この計画を達成するには県の努力はもちろんのことですが、県民のみなさんの深いご理解とご協力がなければとうてい達成できません。

〝明るい豊かな郷土〟を築くために、こぞってご協力下さるようおねがいします。

第十六回国民体育大会

本県の開催本決り

決定までの経過

明年本県で国民体育大会を開くことが、昨年十月二十三日の閣議で了解され、翌二十四日の国体委員会で正式に決定し、去る三十年、国体誘致委員会を結成してからまる四年ぶりに県民待望の夢が実現しました。

国体は金がかかりすぎるというので赤字県では開かないことになっていたので財政再建団体に指定されている本県での開催には多くの困難がありました。

ところが、ぜひ秋田で国体をという関係者の強い熱意と県財政が好転してきたなどの理由でようやく秋田開催が認められたわけです。

金のかからぬ国体に

国体をやれば数億からの金がかかるといわれていますが、これは国体のあるなしにかかわらず実施しなければならない都市計画を実施したり、学校の体育館や競技施設を作ったりする経費を国体開催の経費と混同されていたためです。

本県では一億国体（一億円以上はお金をかけない）を標準に市町村営施設や学校施設をフルに活用して、全国一の少ないお金でつつましいしかし内容の充実した国体を開く考えです。

予算総額は約八千五百万円ですが国の補助金、入場料、寄附金を差引いたものを県と地元市町村で負担することになります県の負担は二千万円足らず（第一次計画）、また開催地市町村の負担は一カ所当り九十万円平均ですから決して莫大なお金でなく、もちろん国体のため教育や民生、産業など他の経費にしわ寄せするようなことは絶対にさけます。

どんな準備が必要か

予定している競技種目は31種目主会場地秋田市ほか十九カ市町村に分散して開催されます。

準備としては先づ競技施設の充実、審判員等の役員の養成があげられますが、とくに全国から参加する選手、役員、視察員観覧者（約二万人）の受け入れ体制の整備でしょう。

秋田市だけでも七千名が宿泊する見込みなので会社、団体などの宿泊施設、寺院などを利用するほか、民家の分散宿泊も必要となります。

県民みんなの力で

国体開催の機会は八十年に一度しか廻ってこないし、しかも天皇、皇后両陛下お揃いでお出でになり、選手の外全国各地から視察員が来県することを考えると、この秋田国体は本県始まって以来の大行事ともいえます。

こうした絶好の機会に、全国の人々に郷土秋田の実情をつぶさにみてもらい好い印象を与えて秋田国体を成功させるためには、県民挙げてこの理解と協力が必要で、来県したお客様にはどんな小さなことにも〝まごころ〟をもってあたるようにしたいものです。

そして、県民すべてがこの大行事に参加しているという〝県民総参加〟の自覚を持ってこそ始めて有意義な秋田国体えの道が拓けるでありましょう。

みんなで歌おう〝県民の歌〟を

県では県民がふだんの生活や集団の中で、明るくたのしく爽い気持で歌える「県民の歌」と秋田県を象徴する「県章」を募集しましたが、「県民の歌」の歌詞は応募数二百十九篇、作曲は二百三十一曲、「県章」は六百十九点で、それぞれ審査の結果、歌詞の部は北秋田郡森吉町大久保笑子さん、曲の部は秋田市川尻町　菅原良昭氏、また県章図案の部では県出身の潮美鶴氏が入選しました。「県民の歌」「県章」ともに県人の中から生れたわけで、こんど「県章」は「県旗」などに採用され、国体では県選手団の意気を高揚してくれるでしょう。また「県民の歌」は県民の愛唱歌として広く県内のみなさんに歌われるようのぞんでいます。

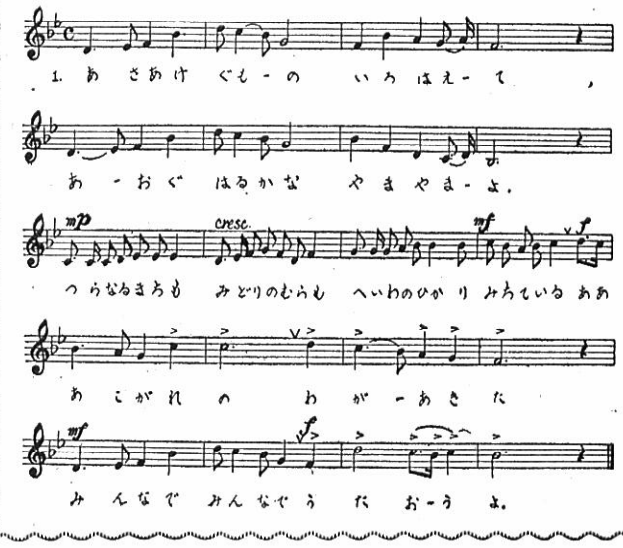
県民の歌

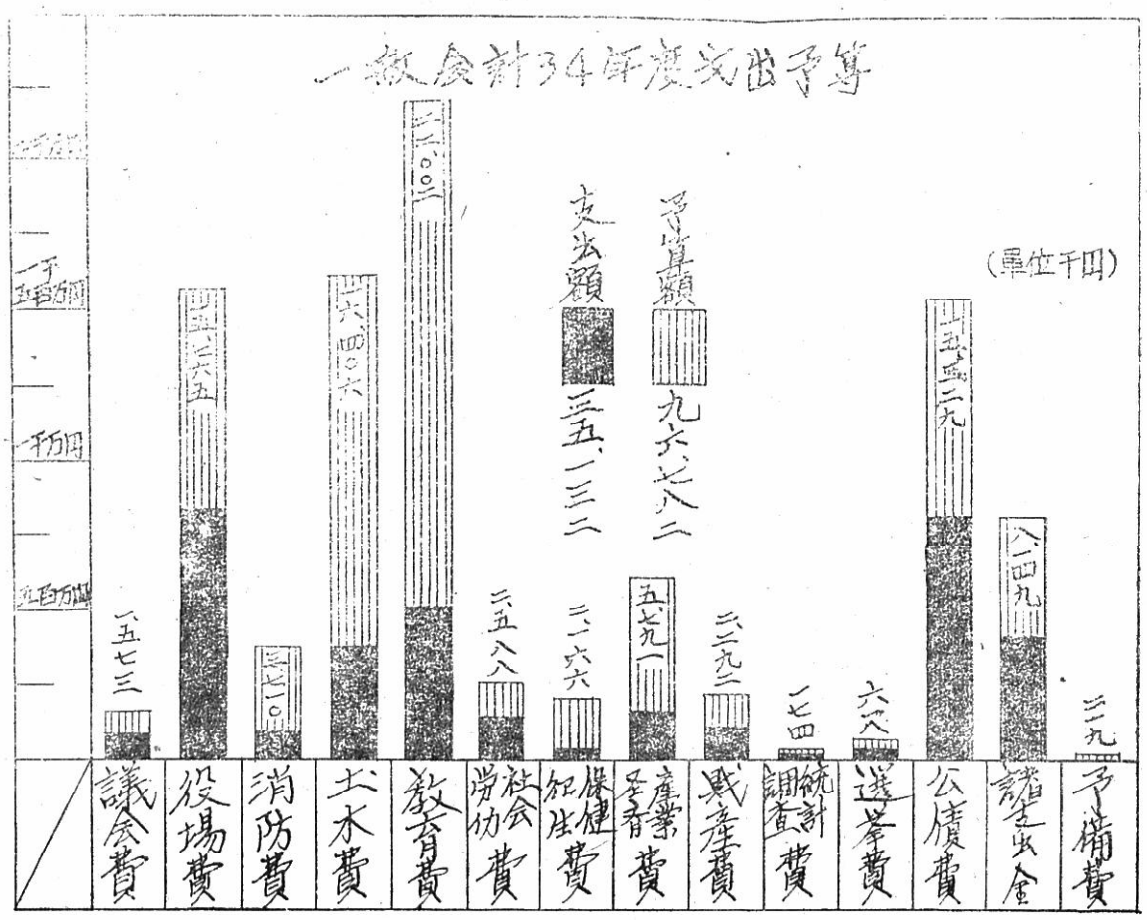
朝あけ雲の　色ばえて
仰ぐはるかな　山出よ
つらなる町も　みどりの村も
平和の光　みちている
ああこがれの　わが秋田
みんなで　みんなで　歌おうよ

流れは大地（だいち）　うるおして
実る稲穂（いなほ）よ　すぎの香（か）よ
資源はゆたか　わきでる油田
希望の力　たくましく
ああ産業の　わが秋田
かんなで　みんなで　伸ばそうよ

湖深く　海ひらけ
雪にきたえて　すこやかに
働く日々も　いこいの夜も
文化のめぐみ　語り合う
ああしあわせの　わが秋田
みんなで　みんなで　進もうよ

県章





昭和三十四年度 才入才出状況

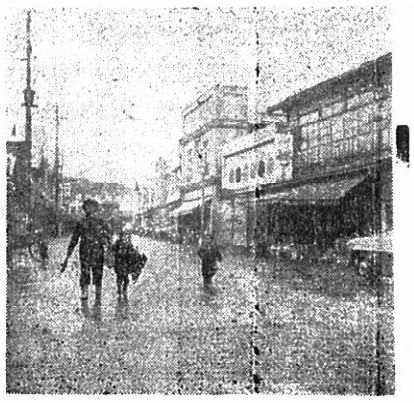
一般会計 才入 予算執行状況(上半期)

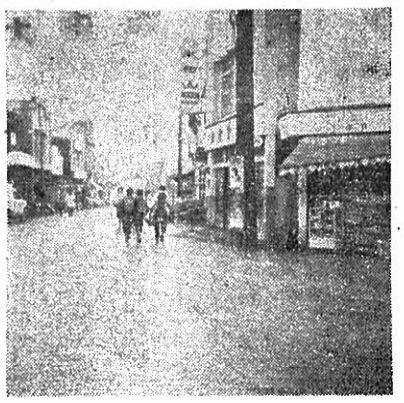
款別	予算額	収入額
町税	47・117千円	18・381
地方交付税	17・167	12・856
公営企業及財産収入	1・655	10
負担金及分担金	332	100
使用料及手数料	1・019	368
国庫支出金	6・540	322
県支出金	4・405	1・476
寄付金	4・436	41
繰入金	1	78
前年度繰越金	1	—
雑収入	7・009	1・452
町債	7・100	—
		(一時借入 11・900)
才入合計	96・782	46・984

一般合計 才出 予算執行状況(上半期)

款別	予算額	支出額
議会費	1・573千円	876千円
役場費	15・765	8・263
消防費	3・710	865
木土費	16・406	3・706
教育費	22・072	5・072
社会及労働施設費	2・588	1・387
保健衛生費	2・166	199
産業経済費	5・791	1・433
財産費	2・292	992
統計調査費	174	40
選挙費	618	472
公債費	15・329	7・892
諸支出金	8・149	3・935
予備費	219	—
才出合計	96・782	35・132

米内沢新丁～大杉線の舗装道路完成する





昭和二十八年度より繼続して家屋の移転用地の売収を進めてきた、米内沢地区新丁～大杉線は昭和三十四年度において町当局の強力な申請が効を奏し県事業として認可になり、総工事費六百万円にて秋田土建が工事を請負延長三六〇米巾員十一米の一大舗装道路がこのほど完成した。

この道路は上小阿仁村に通ずる玄関口であり商店街は活気を呈している

子供の防犯は愛によって

十二月下旬から学校も多休みとなり「クリスマス」「正月」と楽しい事が続きますが、近年少年の犯罪が増加し、この少年の不良化がこの時期になされることが多いのも又事実であります。

家族揃っての夕飯のひとゝき、おぢいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、そして大きい姉さんや兄さん方が、もう一度小さい子供さの事について、皆さんで考えて見て下さい。

○小さい子供さんが、美しい心と、つゝしみを持つたよい子に育つよう努力しておられますか。

○どんな友達と、どんな遊び、どんな本を読んでいるか、ご存じでしようか。

○子供さんのお金づかいについて、気をつけておられますか。

○子供のまちがいを見つけたとき、良くわかるように教えてあげてお

○家庭そのものに、暗いいざこざはありませんか。

○可愛いがりすぎて、わがまゝにさせ、人に迷惑をかけたりしてはいませんか

○子供をおさえすぎて、良い処をのばしてやる工夫を忘れておられませんか。

○学校の先生との連絡を充分になさつておりますか。

○よその子供だからといつて、悪いこと、危険なことをしていても、見て見ぬふりをしている様なことはありませんか。

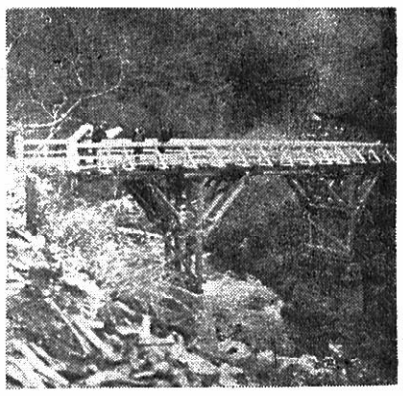
○子供さんを、公平に可愛がつておられますか

常日頃子供さんの教育に熱心なご家族には甚だ失礼ですが、以上の点について少しでもいけなかつたと思う点がありましたら早速あらためて大切な子供さんをいまわしい不良化からかたく守り育てるよう努力して下さい。

そうして成人の言葉や行いの中に、子供の心を傷つけるような事のないよう吾々自身が良い社会を作ることに努力し温い心で、子供の成長を見守つてやれるなら、少年の犯罪は勿論、不良化は防止できる筈です

米内沢響察

待望の桐内沢橋が完成する



…この橋は桐内沢、高畑部落に…
…通ずる重要な橋で一昨年の水…
…害で流失し地元民からは再三…
…にわたる陳情の結果、町でも…
…苦しい財政のやりくりをして…
…今回めでたく完成したのです…

三十四年度共同募金 皆さんの御協力 有難うございます

皆さんの御協力を得まして卅四年度赤い羽根共同募金も目標額に達しました

厚く御礼申上げます

左記に大口寄付者を明記致します

◉目標額 二一三、一六九円

一、戸別募金 一七二、六九五円

二、御頭〃 一二〇円

三、法人〃 二一、五〇〇円

四、大口〃 五三、六〇〇円

五、職域〃 一、二四〇円

六、学校〃 一四、二二〇円

計 二六三、三七五円

一、六千円也＝米内沢婦人会

二、四千九百拾五円也＝米内沢中学校

三、四千壹百五拾壹円也＝米内沢高校

四、参千四拾参円也＝田中学校

五、参千円也＝北林庄作

六、参千円也＝桜庭陸一

七、貳千円也＝近藤董

八、貳千円也＝前田木協組合

九、貳千円也＝公立米内沢病院

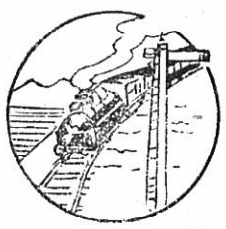
一〇、壹千五百円也＝南十字製材所

一一、壹千貳百四拾円也＝森吉町役場職員組合

一二、壹千壹百拾壹円也＝森吉小中学校生徒会

一三、壹千円也＝柳山忠吉郎外五五名

線路歩行はきけんです



これは当局に強く注意があつたことでありますが鉄道線路づたいを歩行することは皆なでやめましよう、特に前田方面の大仏より阿仁前田駅迄の線でありますものゝことわざにあるとうり、急がば廻れと言うことで、近道をする積りで障害物を平気でのり越へて命を失う人は、たくさんあります、くれ〳〵も御注意下さい

× × × × ×